

## ぬま健司の大綱質疑の通告内容

**2023年2月28日（火）の本会議で質疑します**

（施政方針に対する代表質疑の後になります。午後になる可能性もあります）

傍聴ないしはインターネット中継をご覧ください！

議案名	ぬま健司の質疑通告内容
<b>第12号議案 令和5年度古賀市一般会計予算 について</b>	<p>予算規模は、令和4年度予算比2.1%増の254億212万4千円と過去最大規模となった。市長は2月22日の本会議で行った施政方針演説の中で、財政運営と令和5年度予算について触れたが一般的な内容だった。そこで以下の点について市長の見解を求める。</p>
	①議会に提出する予算案を審議・決定したのはいつ、どの会議か。
	②過去最大規模となった要因は何か。予算執行上の留意点並びに財政状況の見通しをどのように認識しているか。
	③第5次総合計画の2年目の予算だが、「都市イメージ」、基本構想実現に向けて力点を置いて予算配分した分野はどこか。更新されたアクションプランは予算に連動しているか。
	④地球温暖化対策は先送りできない重要課題である。計画づくりやモデル事業はあるが、市民が共に取り組める実効性ある具体的取組を予算に反映したか。
	⑤子どもの医療費無償化の拡大は最も特徴的な事業と言えるが、その目的をどのように認識しているか。健康づくりは「対処から予防への転換」が求められているが、子どもの生活習慣病予防対策は予算に反映されたか。
	⑥小中学校の水泳授業の民間委託も特徴的な事業だが、その目的をどのように認識しているか。市内に民間プールが多数あるという古賀市の有利点を生かした取組になるか。
	⑦薬王寺の温泉施設インキュベーション促進事業に7,400万円が計上されている。同事業に投じた予算額の総額はいくらになるか。契約終了後の自走に向けて2023年度はどのように取り組むか。
	⑧施政方針演説が予算案の提案理由の説明になっていると認識しているか。
	<p>今回の補正予算は6億4,762万9千円の追加となっている。市長は2月22日の本会議で提案理由の説明を口頭で行った。各種資料が配付されているが、補正予算全体の必要性や特徴の説明は不十分だった。そこで以下の点について市長の見解を求める。</p>
①議会に提出する補正予算案を審議・決定したのはいつ、どの会議か。	
②地方自治法第218条第1項で「予算の調製後に生じた事由に基づいて、既定の予算に追加その他の変更を加える必要が生じたとき」に補正予算を調製し、これを議会に提出することができると規定されている。今回、補正予算を編成する理由は何か。	
③基金積立の合計額が約8億円となっているがその理由をどのように説明するか。いわゆる貯金ができることは良いことだが、このことをもって古賀市の財政状況を評価できるか。	
④歳入で新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が5億7,560万8千円計上されているが、古賀市への配分額、活用実績はどのようになっているか。返還ということもあるか。	
⑤燃料費高騰対策運送事業者等支援金は1億1,246万7千円の減額補正となっており、その理由は額確定によるとの説明だった。予算に対する執行率が約40%となることをどのように認識しているのか。	
⑥古賀西小と花鶴小のトイレ改修工事に2億977万円を補正し、次年度に繰り越す措置をした。当初予算に計上せず、このような措置をした理由と財政運営への影響をどのように認識しているのか。	
⑦補正予算案の提案理由の説明は今回のような口頭でよいと認識しているか。	
<b>第21号議案 古賀市議会の議決すべき事件を定める条例の制定について</b>	<p>議会または議員が政策条例等を提出することは重要な取組であり、今後の議会力アップの一つの目標でもある。そこで、提出者の基本的な見解を求め、議会・議員提出条例の在り方を議論しておきたい。</p>
	①提出に至る経緯について。本条例案を必要と考えた契機は何だったのか。どのくらいの期間をかけ、どのような方法で検討してきたのか。任期最後の定例会の提出となったことをどのように考えているのか。
	②議員（会派）主導の提出とした理由。常任委員会や政策推進会議のテーマとして取り上げ、議会全体の合意形成を基に提出する方法もあったと思うがいかがか。
	③議会の議決権拡大という権能強化条例とした理由。まちづくりの将来ビジョンや健康・福祉・地域経済に関する基本計画を対象としなかったのはなぜか。